



5/15(日) & 6/18(土)
AM8:30 ~ 17:00
生協 本部組合員室にて

原発事故による被ばくから6年目に入ります

生協の子どもたち集れ~!

念のため検査だよ!

お手伝いお願いしま~す!

検診スタッフ募集!

常総生協の子どもたち対象

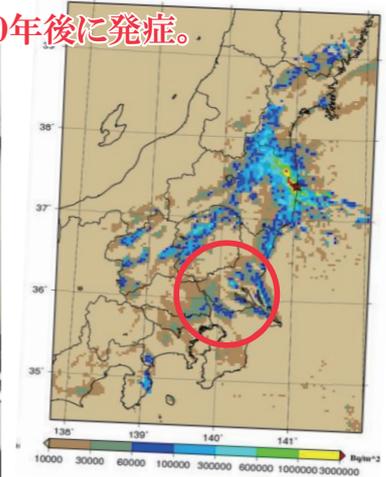
甲状腺検診 実施します

①エコー検査 5/15(日) & 6/18(土)

②血液検査 5/15(日)のみ

【重要】中・高生もぜひ検診を!

福島もチェルノブイリと同様に、事故時10歳以上の子が先行して甲状腺がんを発症。
チェルノブイリでは事故時0~5歳の子は思春期に入る7~10年後に発症。



この5年間でデータも発掘され、関東地方の汚染もかなり正確に再現されるようになった。

環境省「放射線の健康影響に係る研究調査事業(平成26年度):東京電力福島第一原子力発電所事故における住民の線量評価に関する包括研究」『ソースタームの評価と大気拡散シミュレーション』より。

彼らの評価は「従来のスキームは東北地方を過大評価、関東地方を過小評価していた」と。

甲状腺検診「中・高生もぜひ検診を受けて！」

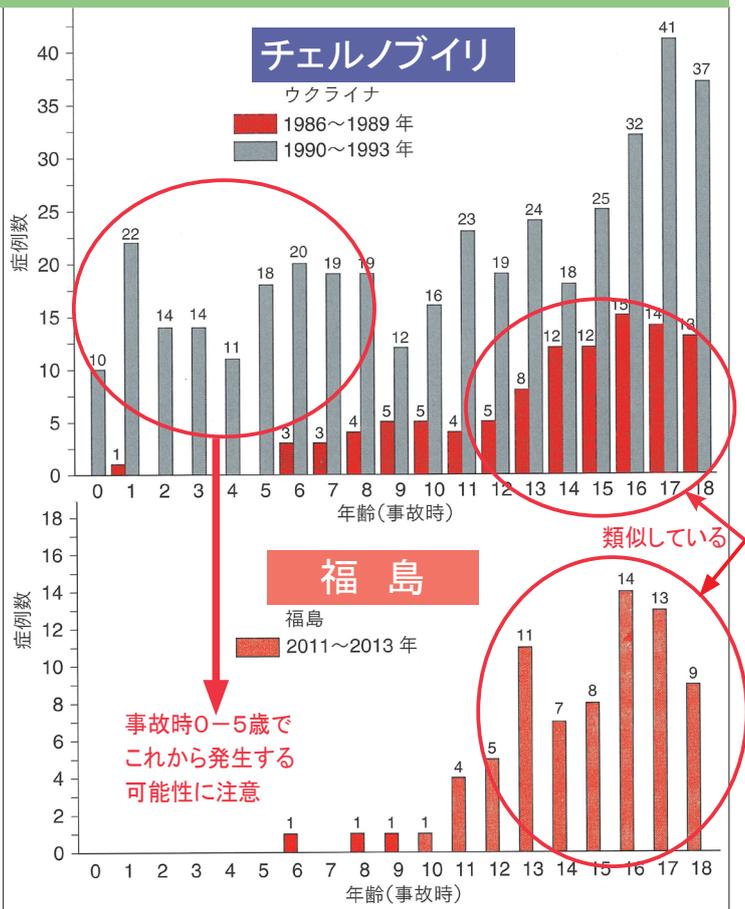
「チェルノブイリでの小児甲状腺がんの発症は被ばくから4年後から。福島で事故後3年間の検診で検出された小児甲状腺がん166名は福島原発事故による被ばくとは関係ない」という福島県民健康調査検討委員会の発表はどれも真実ではなさそうです。

右の図を見てください。ウクライナ内分泌代謝研究所所長のニコライ・トロンコ(Mykoria D. Tronko) 教授の2014年発表論文の中の図です。

上がウクライナのチェルノブイリ原発事故(1986年)から最初の4年(1986-1989)と次の4年(1990-1993)の小児甲状腺がんの事故時年齢別患者発生数。下が福島の2011-2013の先行検査で見つかった小児甲状腺がんの事故時年齢別分布です。

同じ最初の4年の発生を生協で棒グラフを赤く塗って比較しやすいようにしました。

チェルノブイリでは事故後3年目から急増をはじめ、最初の3~4年は事故時10歳以上の子から多く発生しています。(トロンコ氏は福島の発生分布はウクライナの最初の4年と似ているから被ばくの影響ではないと逆のことを言っていますが・・・)



Age Distribution of Childhood Thyroid Cancer Patients in Ukraine After Chernobyl and in Fukushima After the TEPCO-Fukushima Daiichi NPP Accident, Mykola D. Tronko et al., Thyroid, 2014, Vol. 24, 1547

もし、チェルノブイリを教訓とするならば、最初の数年のうちに事故時10歳以上をよく見ておいてあげなければなりません。

関東では事故時10歳以上、現在15~25歳の子の受診者が少なく心配です。

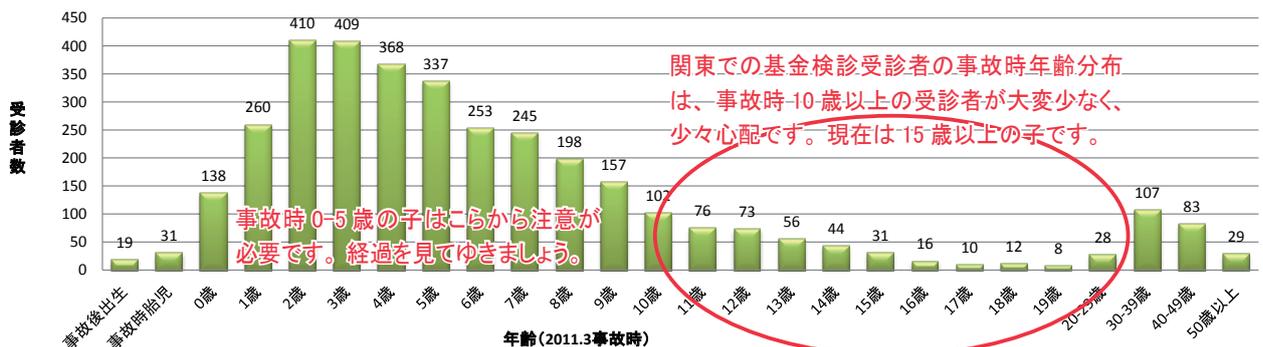
そして、これからいよいよ事故時0~5歳の子での発生を注意深く見守ってやる必要があります。

年齢別の結節 所見率 2013/10~2016/3, 関東子ども基金検診



関東での基金検診では、事故時18歳以下の子の甲状腺がんはありませんが、「結節あり」の所見率は15歳以上の子が高くなっており、福島の甲状腺がんの発生分布と似た傾向にあります。

年齢別(事故時)受診者数(個人ID単位) 関東子ども基金検診



関東での基金検診受診者の事故時年齢分布は、事故時10歳以上の受診者が大変少なく、少々心配です。現在は15歳以上の子です。

事故時0-5歳の子はこれから注意が必要です。経過を見てゆきましょう。

常総生協「子ども健康検診」開催要領

【開催日】2016年5月15日（日）

& 6月18日（土）

【会場】守谷市 常総生協本部2F組合員室

（守谷市本町 281 TX守谷駅徒歩7分）

【定員】各日150名

【甲状腺エコー検査】

（日時）5/15（日）& 6/18（土）（8:30～17:00）

担当医師 田中優美子（組合員）

（がん研有明病院 放射線科）

（主催）関東子ども健康調査支援基金

（自己負担額）カンパ1,500円

（検査内容）のう胞、結節の有無・数・大きさ
結節の良性・悪性

【血液検査】5/15（日）のみ（8:30～13:30）

（委託機関）江東微生物研究所検査本部（つくば市）

（主催）常総生協

（自己負担額）2,000円

費用一人5,000円のうち3,000円を生協基本料より補助

※組合員以外で受診される場合は全額負担。

（検査項目）

低線量放射線被ばくによる非がん健康影響として甲状腺機能への影響、血液中の甲状腺ホルモンと免疫細胞（白血球）の状態を確かめる目的で、①一般血液検査、②血液像、③甲状腺機能の検査を行います。

※B細胞・T細胞のCD検査、およびサイログロブリン検査は異常が見られた場合の二次検査対象とします。

【申込要領】

・下記「受診申込書」に記入の上、生協まで提出して下さい。

・ 申込〆切：4月15日（金）

（FAXでもOKです。0297-45-6675）

・受診希望時間は、希望時間帯が定員を超える場合、前後に調整させて頂く場合があります。

・検診カンパ・自己負担金は当日受付にて。

・「甲状腺エコー検診」は、関東子ども健康調査支援基金として茨城・千葉を中心に他の日程でも開催しています。日程が合わない場合は別会場でも受診できます。「血液検査」は上記日程で生協組合員のみ対象です。

キリトリ

甲状腺検診申込書	【保護者登録情報】		検診を受けたことがある方		はじめて生協（または子ども基金）の検診を受けられる方		
	お名前（ふりがな）		年齢	ID番号（6桁）	生年月日	性別	
					西暦 年 月 日	男・女	
	【検診の希望日・検診項目・希望時間】						
	選択	検診項目（下記の左欄に○をつけて下さい）			（希望受診時間を30分の時間帯で個記入下さい）※変更して頂く場合あり		
		5/15（日）甲状腺・血液両方受診（8:30～13:30）			時 分 ～	時 分	
		5/15（日）甲状腺エコー検診のみ受診（8:30～17:00）			時 分 ～	時 分	
		5/15（日）血液検査のみ受診（8:30～13:30）			時 分 ～	時 分	
		6/18（土）甲状腺エコー検診のみ（8:30～17:00）			時 分 ～	時 分	
	【受診者登録情報】			検診を受けたことがある方		はじめて生協（または子ども基金）の検診を受けられる方	
受診者	お名前（ふりがな）		年齢	受診希望項目	ID	生年月日	性別
				甲状腺・血液		西暦 年 月 日	男・女
				甲状腺・血液		西暦 年 月 日	男・女
				甲状腺・血液		西暦 年 月 日	男・女
				甲状腺・血液		西暦 年 月 日	男・女

※過去に生協（または関東子ども健康調査支援基金）の検診を受けたことがある場合は、お渡した「カード」に記載されているIDをご記入下さい。万一不明な場合は生協（担当：米山）までお問い合わせ下さい（0297-48-4911）。
※お名前の上に必ず「ふりがな」をお願いします。 ※検診時間帯は調整させて頂く場合もありますのでご了解下さい。

【検診ボランティアスタッフ協力申出】

検診ボランティアに参加・協力します。



コース名 _____ 班名 _____ 組合員NO. _____ お名前 _____

5/14 (土) 12:00~13:30 スタッフ実習研修会に参加OK

5/15 (日) の検診に協力できます 時間帯 (_____) 2~3時間・半日

6/18 (土) の検診に協力できます 時間帯 (_____) 2~3時間・半日

(仕事内容) 受付、案内、ベッド横介助、PC入力 (すでに経験しているところ、やれそうなものに○をつけて下さい)

キトリ

●検診スタッフのみなさんよろしくお願いたします！

関東子ども健康調査支援基金では各地区で検診運営委員会を立ち上げて検診をみんなで実施しています。生協でも医師、技師、受付、案内、記録(PC入力)まですべて組合員がスタッフになって検診を開催しています。

すでにスタッフ登録をして頂いている皆様には上記日程でのご協力よろしくお願いたします。また新たにスタッフ登録してお手伝いして下さる方も募集します。検診を受ける家族でスタッフになって頂けると、受診者の気持ちになって検診の運営ができますので大歓迎です。



●5/14 (土) ボランティアスタッフ事前実地研修会を開催します

今回、初回日程の前日5/14 (土) 12:00 ~ 13:30 でスタッフの研修会・顔合わせ会を開催します。受診者の受付方法、説明内容、受診者にお渡しするパンフレットの読み合わせ、検診ベッドでの留意点、医師の画像判定の入力、検診結果をお渡しする際の説明等、最初から最後までの流れをいっしょに研修したいと思います(スタッフ自身のエコー検診受診含む)。



5/14 (土) 関東での甲状腺検診協力医師・技師の研修会が生協で開催されます

5/14 (土) 14:00 ~ 17:00 には関東の甲状腺検診に協力して頂いている医師・技師 10 数名が常総生協本部に集まって甲状腺診断の研修・研究会が予定されています。

広島大学で被ばく医療を修めチェルノブイリや、カザフスタンのセミパラチンスクの子どもたちの甲状腺検診を続け、福島原発事故後は福島や関東の子どもたちの検診を続けてくださっている島根大学の野宗先生を囲んで、医学上の専門的な研修が予定されています。

福島原発事故から6年目に入り、いよいよ医師グループのレベルをみんなで向上させて子どもたちを守ってゆこうという先生の決意です。



昨年の医師研修会のようす

